

CCD バーコードタッチリーダー

CA-800-USB

設定マニュアル

はじめにお読み下さい



株式会社アチーブ

www.achieve.co.jp

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1

ナイス第2ビル 5F

電話 045-508-1877 FAX 045-501-4922

Version A

目次

取り扱い上の注意 必ずお読み下さい	3
第1章 はじめに	6
第2章 セットアップ	7
第3章 操作	9
第4章 メンテナンス	10
第5章 困ったときは	11
第6章 仕様	12
第7章 出荷時の初期設定一覧、コード ID 一覧	13
第8章 設定の方法	18
第9章 設定メニュー	24
・ 9-1 初期化、バージョン情報、設定中止	24
・ 9-2 USBインターフェースの設定	25
・ 9-3 動作設定	26
・ 9-3-1 動作設定 ブザー	26
・ 9-3-2 動作設定 スキャンング	27
・ 9-3-3 動作設定 LED	28
・ 9-3-4 動作設定 読み取り一致	29
・ 9-3-5 動作設定 プリアンブル/プレフィックス/サフィックス/ポストアンブル	30
・ 9-3-6 動作設定 バーコードタイプ、コードID、桁数の転送	31
・ 9-3-7 動作設定 アルファベット大文字小文字の変換	32
・ 9-4 読取設定	33
・ 9-4-1 UPC-A	33
・ 9-4-2 UPC-E	35
・ 9-4-3 EAN-13 / JAN-13	37
・ 9-4-4 EAN-8 / JAN-8	39
・ 9-4-5 Code 39	41
・ 9-4-6 Interleaved 2 of 5	42
・ 9-4-7 Industrial 2 of 5	43
・ 9-4-8 Matrix 2 of 5	44
・ 9-4-9 Codabar / NW7	45
・ 9-4-10 Code 128	46
・ 9-4-11 Code 93	47
・ 9-4-12 Code 11	48
・ 9-4-13 MSI/Plessey	49
第10章 保証と修理	50
付録A サンプルバーコード	51
付録B 英数メニュー	52

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。




取り扱い上の注意 必ずお読み下さい

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。



本製品を正しく使用するために、必ずお読みになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。

本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。







警告表示の意味

 危険	絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。
 警告	嚴重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。
 注意	安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。






絵記号の意味

 警告	この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
 注意	この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

危険

-  本製品を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れしないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。目に障害を与える恐れがあります。
-  本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。
-  プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘヤピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。
-  直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。

警告

-  本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。
-  液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。
-  煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。
-  本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。
-  接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。



読み取り窓から出る赤い光を直接目でぞき込まないで下さい。
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けしないで下さい。
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。
火災になったり、感電する恐れがあります。



濡れた手で本製品に触れないで下さい。
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。



小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。



プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。
そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。



注意



パソコンおよび周辺機器の取扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。
人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。



本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべて CD-ROM など外部の記憶装置にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。



次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・ 強い磁界が発生するところ
- ・ 静電気が発生するところ
- ・ 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えるところ、または結露するところ
→故障の原因となります
- ・ 振動が発生するところ
→けが、故障、破損の原因となります
- ・ 平らでないところ
→転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
- ・ 直射日光が当たるところ
火気の周辺、または熱気のコモるところ
→故障や変形の原因となります
- ・ 漏電または漏水のあるところ
→故障や感電の原因となります



シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。
条例については、各地地方自治体にお問い合わせ下さい。



法令準拠と注意

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

- (1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。
- (2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

本製品は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス A デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- ・ 受信アンテナの位置や方向を変える
- ・ 装置と受信機の距離をとる
- ・ 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- ・ 経験のあるテレビ・ラジオの技術者に相談する



ご利用上の注意

- 本製品はすべての USB を用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべての USB を用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USB を用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。



読み取らないバーコードの注意

- 読み取りはバーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。
- 仕様外のバーコードは読み取りません。

第1章 はじめに

1-1 本書について

本書では、バーコードリーダーCA-800の操作方法について一般的な情報を説明します。

1-2 製品の特徴

CA-800（以下、本製品またはスキャナ）はバーコードの読み取りおよび入力装置です。
本製品は読み取ったバーコードデータをパソコンに転送・入力することができます。

- 高性能なバーコードタッチ読み取り
- 軽くて使いやすいスリムデザイン
- 読み取り窓幅 80mm
- サイドトリガー
- USB キーボードインターフェース

1-3 付属品 付属品がそろっていることを確認してください

CA-800(スキャナ本体、ケーブル付き) 英語マニュアル

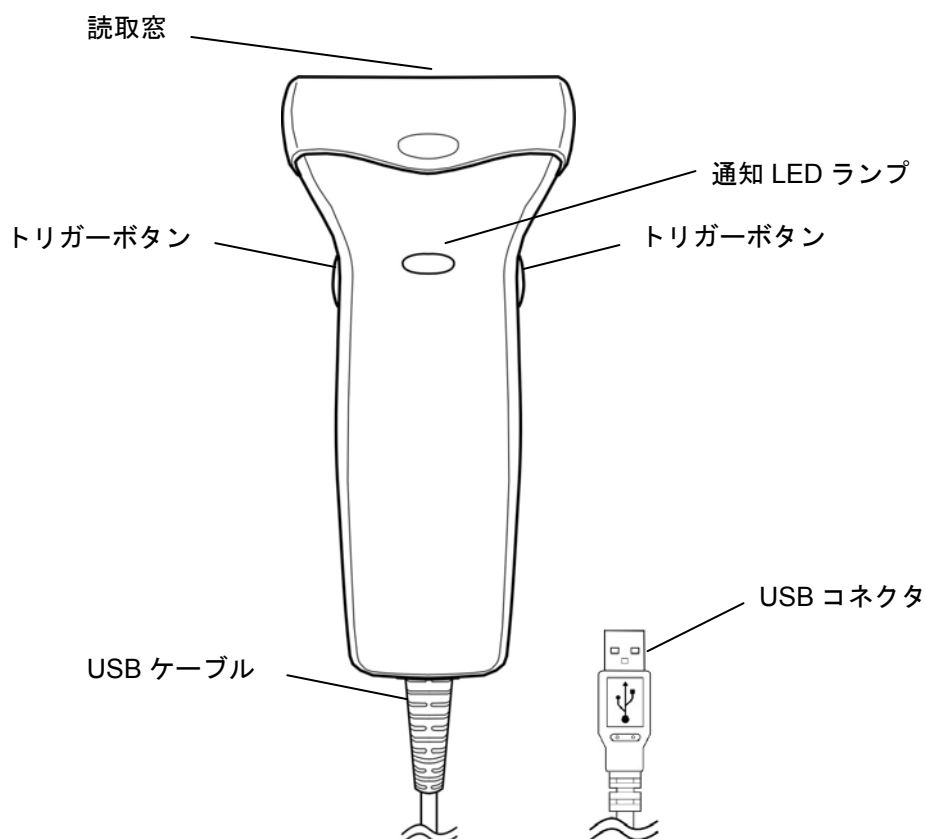
ご案内 本書の印刷物は付属していません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。

1-4 別途ご用意下さい

- 利用可能な USB ポートがあるパソコン

ご注意 本製品はすべての機器との動作を保証するものではありません。

1-5 各部の名称



第2章 セットアップ

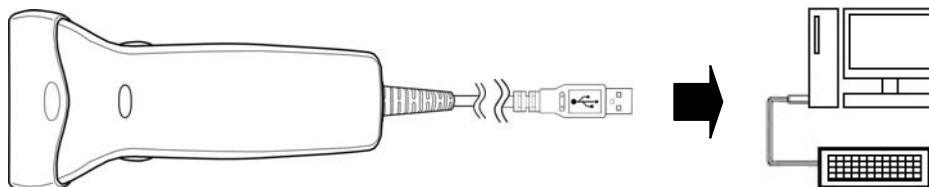
2-1 製品の取り出し

箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

- ・ 製品に破損が無いことを確認する。破損があった場合はすぐに弊社へお知らせ下さい。
- ・ 不足しているものがないか確認する。
- ・ 保管や返送時のために、箱は保管する。

2-2 スキャナのセットアップ

USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続して下さい。パソコンが自動でドライバをインストールしセットアップが完了します。



2-3 最初に設定して下さい（おすすめの設定）

はじめて使うときは、本製品で下記の設定メニュー(設定用バーコード)1~5 を順に読み取り設定して下さい。スキャナの読取窓を設定メニューにかぶせてトリガーボタンを押すと読み取ります。

1. 設定開始 (設定開始の音が鳴ります)



2. キーボードレイアウト 日本キーボード



3. Caps Lock (Lower Case)



4. Interleaved 2 of 5(ITF)読み取り 許可



5. 設定終了 (設定終了の音が鳴ります)



メモ 上記の設定をしなくても使用できますが、設定すると主な用途で使用できるようになります。












2-4 よく使う設定 (Enter・Tab・無し)

- ・ 出荷時のスキヤナはデータの終端にEnter（エンター、改行）を転送します
- ・ EnterをTab（タブ）、または無しに変更する場合は、スキヤナで下記の1～3の設定メニューを上から順に読み取り、設定を変更して下さい。

1. 設定開始



2. Enter、Tab、なしを選択

Enter(改行)※出荷時設定	Tab(タブ)	無し
ポストアンプルの転送 許可  * I F B * ↓ ポストアンプル データ 0  * A B B * ↓ 0  ↓ D  ↓ セット 	ポストアンプルの転送 許可  * I F B * ↓ ポストアンプル データ 0  * A B B * ↓ 0  ↓ 9  ↓ セット 	ポストアンプルの転送 禁止  * I F A *

3. 設定終了



メモ 詳しくは「第8章 設定の方法」「第9章 設定メニュー」をお読み下さい。

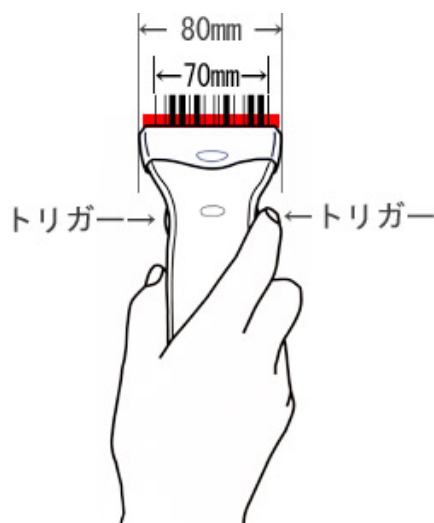
第3章 操作

3-1 使い方

- 1) スキャナをパソコンに接続して下さい。
- 2) パソコンのソフトを立ち上げ、バーコードデータを入力する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 3) バーコードの読み取りを開始して下さい。バーコードを読み取るごとにデータを転送します。サンプルバーコード(巻末)などを読み取ってお試し下さい。

3-2 バーコードの読み取り方

- 1) スキャナのトリガーボタンを押して下さい。
- 2) 読み取り窓をバーコードにかぶせて下さい。 スキャナがバーコードを読み取ります。



3-3 スキャナの通知

ブザー

ブザーの鳴り方	意味
メロディーの後に長い音	スキャナの電源オン
1回 (ピ)	読み取り成功
上昇メロディー	設定開始
高低 (ピロ)	設定メニュー読み取り
高低高低 (ピロピロ)	設定メニュー読み取り 次に英数メニュー読み取りが必要
2回 (ピピ)	英数メニュー読み取り
短い上昇メロディー	設定メニューの「セット」読み取り
短い上昇下降メロディー	設定中止
下降メロディー	設定終了
5回の短い低音	エラー (設定メニューの読み取り順を間違った)
5回の長い高音の後、下降メロディー	初期化、設定終了

通知 LED ランプ

LED の状態	意味
1回点灯	読み取り成功
消灯	スリープ (または電源が入っていない)

第4章 メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

4-1 読み取り窓の清掃



ご注意



読み取り窓を清掃するときは、傷つけないように注意してください。読み取り窓が傷つくと読み取らなくなります。

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。

- ・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 有機溶剤を使用しない
→窓が溶けて読み取らなくなります。
- ・ 強くこすらない
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない
→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

4-2 ケーブルの点検

ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

定期的の下記のことを確認して下さい。

- ・ コネクタが破損・変形していないか確認する
→コネクタが異常だと動作しなくなります。
- ・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。
→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

第 5 章 困ったときは

Q:設定の方法を知りたい

A:第 8 章「設定の方法」をお読み下さい。

Q:Interleaved 2 of 5(ITF)を読み取らない

A: 第 2 章 2-3「最初に設定して下さい」のメニューを設定して下さい。

なお、Interleaved 2 of 5 の桁数が 2 桁または 4 桁の場合、第 9 章 9-4-6「読取設定 Interleaved 2 of 5」と巻末の英数メニューを使い、最小読取桁数を 2 桁（または 4 桁）に設定して下さい。

設定開始 → (Interleaved 2 of 5)最小読取桁数 → 0 → 2 → セット → 設定終了

Q:読み取りデータの文字が化ける

A: 第 2 章 2-3「最初に設定して下さい」のメニューを設定して下さい。

Q:読み取りデータのアルファベットの大文字が小文字になる（または小文字が大文字になる）

A: 第 2 章 2-3「最初に設定して下さい」のメニューを設定して下さい。

それでも改善しない場合、第 9 章 9-2「USB インターフェースの設定」の「Caps Lock」からいずれかを設定して下さい。

メモ Caps Lock の設定を「ALT+テンキー」に設定すると、パソコンの CapsLock に関わらず、そのままデータを転送します。ただし転送速度は遅くなります。(Windows 用の機能です。また、すべての機器での動作を保証するものではありません)

Q:Code 39 のスタート/ストップキャラクタ * を転送したい

A: 第 9 章 9-4-5 の Code 39 スタート/ストップ転送を に設定して下さい。

Q:NW7 のスタート/ストップキャラクタ A を転送したい

A: 第 9 章 9-4-9 の Codabar/NW7 スタート/ストップ転送を に設定して下さい。

Q:データの最後に転送する Enter(エンター、改行)を Tab(タブ)や無しに変更したい

A:第 2 章 2-4「よく使う設定」のメニューで設定して下さい。詳しくは第 8 章 8-7「読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定」をお読み下さい。

Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の 0 が消える

A:Excel でデータを入力する列を選択 → 右クリック → セルの書式設定 → 表示形式 → 文字列 → OK を設定して下さい

Q:Enter(改行)の設定をしたが改行しない、データが横につながって出る

A:パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[直接入力]を設定して下さい。直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい

IME(言語バー、「あ」などを)右クリック → [プロパティ] → ([詳細設定] → [全般]タブ) → [編集操作] → [直接入力を使用しない] のチェックを外す → [OK]
 以上で IME(言語バー)を右クリックして[直接入力]を選択可能になります。
 ※パソコンにより設定は異なります

第 6 章 仕様

仕様表

読み取りバーコード	UPC,EAN,JAN ,Code 39, Interleaved 2 of 5(ITF),Industrial 2 of 5,Matrix 2 of 5, Codabar / NW7, Code 128,Code 93,Code 11, MSI/Plessey
光学仕様	受光 : CCD リニアイメージセンサー 光源 : 630nm 赤色 LED ランプ スキャン速度 : 100 スキャン/秒
読取仕様	読取窓幅 : 80mm 分解能 : 0.127mm 読取距離 : 0~30mm (PCS0.9, 細バー0.39mm) PCS : 0.3 (細バー0.33mm)
電力	消費電流:40~45mA 入力: DC 5V,+5%
インターフェース	USB HID キーボード(ケーブル長 2m)
読み取り通知	赤色 LED(読取成功)、ブザー(音量調節可能)
動作温度/湿度	0 °C~+50 °C / 5%~95%RH(結露なきこと)
衝撃	1m の高さからコンクリート面に自然落下後、正常動作
寸法	58mm x 82mm x 170mm (高さ x 幅 x 奥行き)(保護ラバー除く)
重量	105g (ケーブル除く)
EMI	FCC class A / CE / VCCI class B
動作確認 OS	Windows 8.1(32bit,64bit),Windows 8,Windows 7,Windows XP

注意 バーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。

第7章 出荷時の初期値一覧、コードID一覧

7-1 初期値の一覧

設定の初期値です。

初期値の一覧表

USBインターフェースの設定	初期値	参照ページ
キーボードレイアウト	英語キーボード	25
Caps Lock	オート	25
数字データ	フルキーボードとして入力する	25
制御文字のファンクションキー変換	禁止	25
キャラクタ間ディレイ	01 (1msec)	25
転送間ディレイ	00 (0msec)	25

ブザー	初期値	参照ページ
電源オン時のメロディー	禁止	26
読み取りブザー	禁止	26
ブザー音量	10 (Level 10)	26
ブザー長さ	06 (60msec)	26

スキャンング	初期値	参照ページ
トリガーモード	グッドリードオフ	27
電源オン時のトリガー	禁止	27
同一コードの読取禁止時間	05 (500msec)	27

LEDの点灯時間	初期値	参照ページ
読取光源の赤色LED点灯時間	15 (15sec)	28
タイムアウトフラッシュ時、点滅のオン時間	20 (200msec)	28
タイムアウトフラッシュ時、点滅のオフ時間	20 (200msec)	28

読み取り一致	初期値	参照ページ
読み取り一致	禁止	29
読み取り一致回数	01 (1回)	29

初期値の一覧表(続き)

プリアンブル、プレフィックス、サフィックス、ポストアンブル	初期値	参照ページ	
プリアンブルの転送	禁止	30	
プリアンブルのデータ	データ0	(なし)	30
	データ1	(なし)	30
プレフィックスの転送	禁止	30	
プレフィックスのデータ	(なし)	30	
サフィックスの転送	禁止	30	
サフィックスのデータ	(なし)	30	
ポストアンブルの転送	許可	30	
ポストアンブルのデータ	データ0	CR (設定値 0D)	30
	データ1	LF (設定値 0A)	30

コードタイプ、コードID、桁数	初期値	参照ページ
バーコードタイプ転送	禁止	31
コードID転送	禁止	31
コードIDの位置	データの前	31
桁数転送	禁止	31

アルファベット大文字小文字の変換	初期値	参照ページ
アルファベット大文字小文字の変換	禁止	32

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	参照ページ	
UPC-A	読み取り	許可	33	
	チェックデジット転送	許可	33	
	アドオンの読み取り	禁止	33	
	アドオンの確認	禁止	33	
	アドオンの待ち時間	50 (500msec)	33	
	先頭から連続する0の削除	禁止	34	
	データの削除	前方から削除	00	34
		後方から削除	00	34
コードIDの文字	A (設定値 41)	34		
UPC-E	読み取り	許可	35	
	チェックデジット転送	許可	35	
	アドオンの読み取り	禁止	35	
	アドオンの確認	禁止	35	
	アドオンの待ち時間	50 (500msec)	35	
	13桁に変換	禁止	36	
	先頭から連続する0の削除	禁止	36	
	データの削除	前方から削除	00	36
		後方から削除	00	36
	コードID 0 の文字	E (設定値 45)	36	
	コードID 1 の文字	(なし)	36	
EAN 13 /JAN 13	読み取り	許可	37	
	チェックデジット転送	許可	37	
	アドオンの読み取り	禁止	37	
	アドオンの確認	禁止	37	
	アドオンの待ち時間	50(500msec)	37	
	ISBN/ISSNに変換	禁止	38	
	先頭から連続する0の削除	禁止	38	
	データの削除	前方から削除	00	38
		後方から削除	00	38
	コードID の文字	F (設定値 46)	38	
EAN 8/JAN 8	読み取り	許可	39	
	チェックデジット転送	許可	39	
	アドオンの読み取り	禁止	39	
	アドオンの確認	禁止	39	
	アドオンの待ち時間	50 (500msec)	39	
	13桁に変換	禁止	40	
	1桁目から連続する0の削除	禁止	40	
	データの削除	前方から削除	00	40
		後方から削除	00	40
	コードID 0 の文字	F (設定値 46)	40	
	コードID 1 の文字	F (設定値 46)	40	

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	参照ページ	
Code 39	読み取り	許可	41	
	スタート/ストップ転送	禁止	41	
	チェックデジット確認	禁止	41	
	チェックデジット転送	禁止	41	
	Code 39の形式	標準のCode 39	41	
	最小読取桁数	00	41	
	最大読取桁数	00	41	
	データの削除	前方から削除	00	41
		後方から削除	00	41
	コードIDの文字	M (設定値 4D)	41	
Interleaved 2 of 5	読み取り	禁止	42	
	チェックデジット確認	禁止	42	
	チェックデジット転送	禁止	42	
	最小読取桁数	06	42	
	最大読取桁数	00	42	
	データの削除	前方から削除	00	42
		後方から削除	00	42
	コードIDの文字	I (設定値 49)	42	
Industrial 2 of 5	読み取り	禁止	43	
	チェックデジット確認	禁止	43	
	チェックデジット転送	禁止	43	
	最小読取桁数	06	43	
	最大読取桁数	00	43	
	データの削除	前方から削除	00	43
		後方から削除	00	43
	コードIDの文字	H (設定値 48)	43	
Matrix 2 of 5	読み取り	禁止	44	
	チェックデジット確認	禁止	44	
	チェックデジット転送	禁止	44	
	最小読取桁数	06	44	
	最大読取桁数	00	44	
	データの削除	前方から削除	00	44
		後方から削除	00	44
	コードIDの文字	G (設定値 47)	44	
Codabar/NW7	読み取り	禁止	45	
	スタート/ストップ転送	禁止	45	
	スタート/ストップ形式	ABCD/ABCD	45	
	チェックデジット確認	禁止	45	
	チェックデジット転送	禁止	45	
	最小読取桁数	06	45	
	最大読取桁数	00	45	
	データの削除	前方から削除	00	45
		後方から削除	00	45
	コードIDの文字	N (設定値 4E)	45	
Code 128	読み取り	許可	46	
	転送形式	Code 128	46	
	最小読取桁数	06	46	
	最大読取桁数	00	46	
	データの削除	前方から削除	00	46
		後方から削除	00	46
	コードIDの文字	K (設定値 4B)	46	

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	参照ページ	
Code 93	読み取り	禁止	47	
	チェックデジット確認	許可 2桁	47	
	チェックデジット転送	禁止	47	
	データの削除	前方から削除	00	47
		後方から削除	00	47
コードIDの文字		L (設定値 4C)	47	
Code 11	読み取り	禁止	48	
	チェックデジット確認	許可 2桁	48	
	チェックデジット転送	禁止	48	
	データの削除	前方から削除	00	48
		後方から削除	00	48
コードIDの文字		O (設定値 4F)	48	
MSI/Plessey	読み取り	読み取らない	49	
	チェックデジット確認	許可 MOD10	49	
	チェックデジット転送	禁止	49	
	データの削除	前方から削除	00	49
		後方から削除	00	49
コードIDの文字		P (設定値 50)	49	

7-2 コードID一覧

コードIDは初期値の一覧表にも表示しています。見やすくするためにまとめた表です。

コードID一覧表

バーコードシンボル	コードID (コードID0) (ASCII)	コードIDの 設定値(HEX)	コードID 1 (ASCII)	コードID 1の設定値 (HEX)
UPC-A	A	41		
UPC-E	E	45	(なし)	(なし)
EAN 13 / JAN 13	F	46		
EAN 8 / JAN 8	F	46	F	46
Code 39	M	4D		
Interleaved 2 of 5	I	49		
Industrial 2 of 5	H	48		
Matrix 2 of 5	G	47		
Codabar / NW7	N	4E		
Code 128	K	4B		
Code 93	L	4C		
Code 11	O	4F		
MSI / Plessey	P	50		

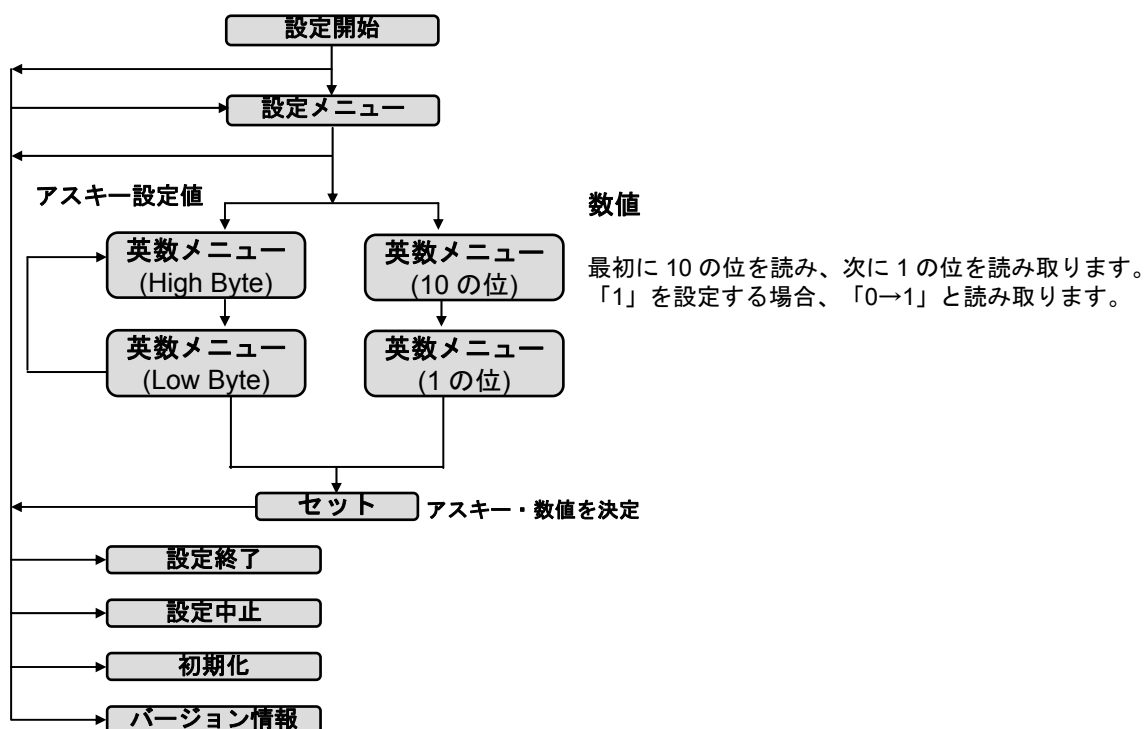
第 8 章 設定の方法

Enter (改行) の設定について

データの終端に付く Enter (改行) を Tab や無しに設定するには 第 2 章 2-4 「よく使う設定」(p8) の設定メニューをお使い下さい。

8-1 設定について

本製品は第 9 章の設定メニュー(設定用バーコード)を読み取ると設定を変更することが出来ます。設定は本製品の不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保持されます。

8-2 設定フローチャート

8-3 設定の初期化

初期化は2通りあります。いずれかの設定メニューを読み取って下さい。

8-3-1 USB インターフェースの設定を初期化する

設定開始 → USB インターフェースの設定を初期化

第9章 9-2 USB インターフェースの設定を初期値に戻します。

動作設定と読取設定は保持されます。

メモ キーボードレイアウトは英語キーボードに戻ります。

8-3-2 動作設定・読取設定を初期化する

設定開始 → 動作設定・読取設定を初期化

第9章 9-3 動作設定と第9章 9-4 読取設定を初期値に戻します。

USB インターフェースの設定は保持されます。

メモ Interleaved 2 of 5 は読み取り禁止に戻ります

8-4 基本的な設定

禁止、許可、動作を選択する設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 各設定 → 設定終了

例 電源オンのメロディーを禁止にする（鳴らさない）

設定開始 → 電源オンのメロディー 禁止 → 設定終了

例 トリガーモードをタイムアウトフラッシュに変更する

設定開始 → トリガーモード タイムアウトフラッシュ → 設定終了

8-5 数値・桁数の設定

設定メニューに「(次に)→01～10」など数字の指示がある設定は次の順で読み取って下さい。「01～10」なら01から10の範囲で数字を設定します。数字は10の位と1の位を読み取ります。設定する値が1桁の場合、10の位に0のメニューを読み取り、次に1の位のメニューを読み取って下さい。英数メニューとセットは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー10の位 → 英数メニュー1の位 → セット → 設定終了

例 ブザー音量を05に設定する

設定開始 → ブザー音量 → 0 → 5 → セット → 設定終了

注意 設定メニュー中に指示のある桁数の最大値は論理値です。実際にはスキャナが光学的に読み取りできる範囲で読み取ります。実際に読み取るバーコードの桁数などを確認して設定して下さい。

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

8-6 アスキーの設定（文字・キーの設定）

アスキー(ASCII)とは文字やキーを表す 2 桁の設定値です。メニュー表に「(次に)→アスキー(最大 2 桁)」などアスキーの指示がある設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー → 英数メニュー → セット → 設定終了

アスキーの設定値

英数メニュー(巻末)2 つで 1 文字 (1 キー) を表します。

8-6-1 アスキーの設定値の求め方

例えば文字「A」の設定値を求める場合、アスキーコード表（巻末）から「A」を見つけます。A は行の見出し(High)が 4、列の見出し(Low)が 1 です。「A」の設定値は「41」となります。英数メニューは「4」「1」と 1 個ずつ読み取ります。

例 プレフィックスに「A(設定値 41)」を設定する

設定開始 → プレフィックスのデータ → 4 → 1 → セット → 設定終了

メモ プレフィックス、サフィックス、プリアンブル、ポストアンブルについては 8-7(次項)をお読み下さい。

8-6-2 複数のアスキー設定

設定メニューに「(次に)→アスキー(最大 10 桁)」と指示がある場合、10 桁までアスキー（文字やキー）を設定できます。複数の文字とキーを設定する場合、英数メニューでアスキーの設定値を連続して読み取ります。

例 プレフィックスに「AB1(設定値 41 42 31)」を設定する

設定開始 → プレフィックスのデータ → 4 → 1 → 4 → 2 → 3 → 1 → セット → 設定終了

8-6-3 ファンクションキーの設定

アスキーコード表（巻末）の「00」から「1F」までの設定値はファンクションキーとして転送します。

例えば設定値「09」は Tab（タブ）、設定値「0D」は Enter（改行）となります。

例 読み取りデータの後に転送するキーを「Tab(設定値 09)」に設定する

設定開始 → ポストアンブルの転送 許可 → ポストアンブル データ 0 → 0 → 9 → セット → 設定終了

8-6-4 アスキーの消去

アスキーの設定値を「00」と設定すると、消去と同等になります。

または、初期化して初期値に戻して下さい。

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります。

8-7 読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定

動作設定の「**プリアンブルのデータ**」、「**プレフィックスのデータ**」、「**サフィックスのデータ**」、「**ポストアンブルのデータ**」にアスキーを設定すると、すべての読み取りデータの前後に文字やキーを追加して転送します。

それぞれの設定は転送の「**許可**」と「**禁止**」の設定があります。「**禁止**」に設定すると転送しませんが、設定した文字やキーは保持されています。

【データ転送形式】

プリアンブル	プレフィックス	バーコードタイプ	コード ID	桁数	読取データ	(コード ID)	サフィックス	ポストアンブル
データ 0 データ 1	1-10 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-10 桁	データ 0 データ 1

プリアンブル	すべてのデータの前方に文字を追加する設定です。データ 0 とデータ 1 の設定があります。データ 0 とデータ 1 はそれぞれ 1 桁まで文字やキー設定できます。
プレフィックス	プリアンブルの次に文字を追加する設定です。 文字やキーを 10 桁まで設定できます。
サフィックス	読み取りデータの後に文字を追加する設定です。 文字やキーを 10 桁まで設定できます。
ポストアンブル	すべてのデータの後方に文字を追加する設定です。データ 0 とデータ 1 の設定があります。データ 0 とデータ 1 はそれぞれ 1 桁まで文字やキー設定できます。 <u>出荷時はポストアンブルのデータ 0 に設定値 0D (Enter、改行キー) が設定されています。</u> ※データ 1 は LF(設定値 0A)が設定されてますが、LF は何も転送しません。

8-7-1 設定の方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューとセットは巻末にあります。

設定開始 → (各設定の)転送 許可 → (各設定の)データ → 英数メニュー → 英数メニュー → セット → 設定終了

アスキーの設定値

英数メニュー2つで1文字 (1 キー) を設定します

例 読み取りデータの前に「A B(設定値 41 42)」を設定する

設定開始 → プレフィックスの転送 許可 → プレフィックスのデータ → 4 → 1 → 4 → 2 → セット → 設定終了

例 読み取りデータの後に、Tab(設定値 09)を 3 回、Enter(設定値 0D)を 1 回転送する

※ () は、出荷時の初期値です。この例の場合、省略してかまいません。

設定開始 → サフィックスの転送 許可 → サフィックスのデータ → 0 → 9 → 0 → 9 → 0 → 9 → セット

(→ ポストアンブルの転送 許可 → (ポストアンブルのデータ) データ 0 → 0 → D → セット) → 設定終了

メモ アスキーの設定値については 8-6 アスキーの設定をお読み下さい

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

8-7-2 設定の消去

プレフィックスとサフィックスのデータを消去のメニューを読み取り設定して下さい。

例 プレフィックスに設定した文字を消去する

設定開始 → プレフィックスのデータを消去 → 設定終了

8-8 バーコードタイプ、コードID、桁数を転送する設定

動作設定に「**バーコードタイプ転送**」、「**コードID転送**」、「**桁数転送**」の設定があります。

これらの設定を「**許可**」に設定するとすべての読み取りデータに情報を追加して転送します。

【データ転送形式】 (p21 と同じ)

プリアンブル	プレフィックス	バーコードタイプ	コードID	桁数	読取データ	(コードID)	サフィックス	ポストアンブル		
データ0	データ1	1-10 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-10 桁	データ0	データ1

バーコードタイプ	読み取ったバーコードの種類です。 例 Code39 のデータ 1234→(CODE-39)1234 と転送します。
コードID	読み取ったバーコードの種類を識別する 1 文字または 2 文字です。 コードID の位置は読み取りデータの前か後を設定できます。 コードID の一覧は第 7 章「7-2 コードID 一覧」をお読み下さい。 例 Code128 のデータ 12345→K12345 と転送します。
桁数	読み取ったバーコードの桁数です。2 桁で転送します。 例 6 桁のデータ 123456 の場合→06123456 と転送します。

コードIDの文字の設定変更

各コードタイプの「**コードIDの文字**」の設定で、コードIDの文字を変更できます。

例 Code39 のコードID を「Z (設定値 5A)」に設定する (初期値は M)

設定開始 → (Code39)コードIDの文字 → Z → A → セット → 設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

8-9 1桁目から連続する0（ゼロ）を削除する設定

UPC、JAN、EAN は「**1桁目から連続する0を削除**」の設定があります。「**許可**」に設定すると1桁目から連続する0を削除して、0以外の数字・文字がある桁からデータを転送します。

例えば会員番号などのバーコードが前方（左側）を連続した0で埋めているとき、0を削除して転送できます。

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → (1桁目から連続する0を削除)許可 → 設定終了

例 UPC-A の1桁目から連続する0を削除する

000056789010→56789010 と転送する。

設定開始 → (UPC-A)1桁目から連続する0の削除 許可 → 設定終了

8-10 読み取りデータの前方と後方を削除する設定

読取設定のコードタイプごとに「**前方から削除**」と「**後方から削除**」の設定があります。設定すると読み取りデータの前方または後方からデータを削除します。

前方から削除	1桁目から後方に向かって設定した桁数を削除します。15桁まで削除できます。
後方から削除	後方から前方に向かって設定した桁数を削除します。15桁まで削除できます。

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 英数メニュー → セット → 設定終了

例 Code 39 の前方から3桁を削除する。1234567890 → 4567890 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 前方から削除 → 0 → 3 → セット → 設定終了

例 Code 39 の後方から4桁を削除する。1234567890 → 123456 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 後方から削除 → 0 → 4 → セット → 設定終了

元に戻す方法 (削除しない)

次の順で次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 0 → 0 → セット → 設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

注意 「先頭が0のJAN-13」の前方と後方の削除について

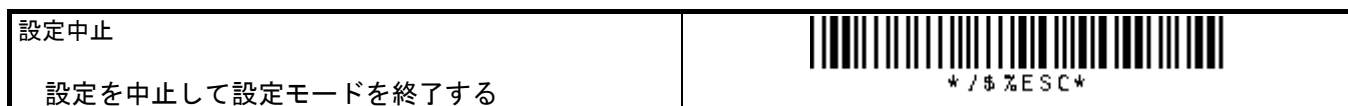
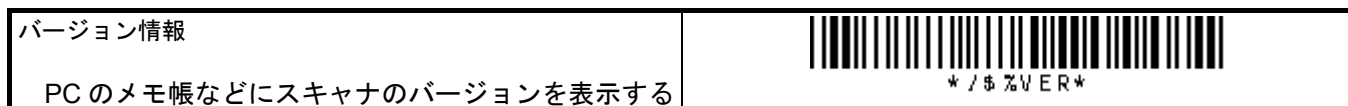
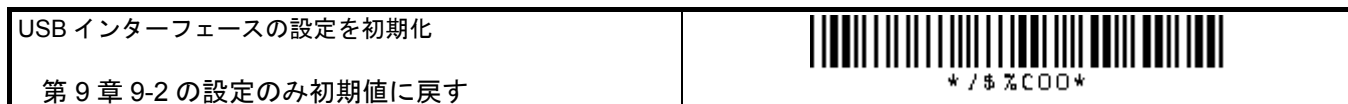
先頭が0のJAN-13の前方と後方の削除は、UPC-Aの「前方から削除」「後方から削除」の設定メニューを使用して下さい。先頭が0の場合、バーコードの構造上、UPC-Aと識別する為です。

第9章 設定メニュー

9-1 初期化、バージョン情報、設定中止



メモ このページのメニューは**設定終了**が不要です。



9-2 USB インターフェースの設定



	設定	初期値	設定メニュー
キーボードレイアウト	英語キーボード 101 キーボード	✓	 * D G A *
	日本キーボード 106 キーボード		 * D G M *
Caps Lock	英大文字(Uppercase) PC の CapsLock がオフの時に設定して下さい。		 * D D A *
	英小文字(Lowercase) PC の CapsLock がオンの時に設定して下さい。	✓	 * D D B *
	ALT+テンキー CapsLock に関わらず文字をそのまま入力します。入力速度は遅くなります。		 * D D D *
数字データ	フルキーボードとして入力	✓	 * D A A *
	テンキーパッドとして入力		 * D A B *
制御文字のファンクションキー変換	禁止	✓	 * D B A *
	許可 例 アスキーの HT(09h)→Tab キーに変換し出力します		 * D B B *
キャラクタ間ディレイ (1文字間の転送時間) (次に)→0~99(単位:1ms)→セット→設定終了		01	 * B A L *
転送間ディレイ (1バーコード間の転送時間) (次に)→0~99(単位:10ms)→セット→設定終了		00	 * B A M *

メモ Caps Lock の設定 バーコード "ABCdef"を読み取ったときの入力文字


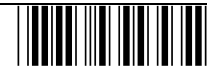




PC 側の状態	Caps Lock オン (PC の Caps Lock ランプ点灯)	Caps Lock オフ (PC の Caps Lock ランプ消灯)
スキャナの設定 Caps Lock 英大文字(Upper Case)	abcDEF	ABCdef
Caps Lock 英小文字(Lower Case)[初期値]	ABCdef	abcDEF
Alt+テンキー	ABCdef	ABCdef

メモ Alt+テンキーは Windows 用の機能です。また、すべての環境で使用できる設定ではありません。



9-3-1 動作設定 ブザー



	設定	初期値	設定メニュー
電源オンのメロディー	禁止		 * C B A *
	許可 スキャナに電源が入るとメロディーが鳴ります	✓	 * C B B *
読み取りブザー	禁止		 * C D A *
	許可 バーコードを読み取るとブザーが鳴ります	✓	 * C D B *
ブザー音量	(次に)→01~10(単位:レベル)→セット→設定終了	10	 * B A C *
ブザー長さ	(次に)→01~99(単位:10ms)→セット→設定終了	06	 * B A E *

例 ブザー音量を 05 に設定する

設定開始 → ブザー音量 → 0 → 5 → セット → 設定終了



9-3-2 動作設定 スキャニング

設定開始



* / # % P R G *

設定	初期値	設定メニュー
トリガーモード		 * C A B *
トリガーを押したときの赤色 LED の点灯方法		 * C A C *
グッドリードオフ トリガーを押すと 15 秒点灯、読み取り後オフ		 * C A D *
モーメンタリ トリガーを押す間、連続点灯、トリガーを離すとオフ		 * C A E *
オルタネート トリガーを押すと連続点灯、押すたびにオン/オフ切り替え	✓	 * C A F *
タイムアウトオフ トリガーを押すと連続点灯、読み取らないと 15 秒後、オフ		 * C A G *
タイムアウトフラッシュ トリガーを押すと連続点灯、読み取らないと 15 秒後、点滅		 * C C A *
電源オン時のトリガー	✓	 * C C B *
禁止		 * B A I *
許可 スキャナに電源が入ると赤色 LED が点灯します		
同一コードの読取禁止時間 トリガーモードがグッドリードオフ以外に有効 (次に)→00~99(単位:100ms)→セット→設定終了	05	

設定終了



* / # % E X T *

9-3-3 動作設定 LED



設定	初期値	設定メニュー
読取光源の赤色 LED 点灯時間 (次に)→00~99(単位:1s)→セット→設定終了	15	 * B A F *
タイムアウトフラッシュ時、点滅のオン時間 (次に)→00~99(単位:10ms)→セット→設定終了	20	 * B A G *
タイムアウトフラッシュ時、点滅のオフ時間 (次に)→00~99(単位:10ms)→セット→設定終了	20	 * B A H *

メモ 読取光源の赤色 LED 点灯時間は 9-3-2 トリガーモード「グッドリードオフ」「タイムアウトオフ」「タイムアウトフラッシュ」の点灯時間の設定です。

タイムアウトフラッシュ時、点滅のオン時間（オフ時間）は 9-3-2 トリガーモード「タイムアウトフラッシュ」の設定です。



9-3-4 動作設定 読み取り一致



設定		初期値	設定メニュー
読み取り一致	禁止	✓	 * C S A *
	許可 読み取りの正確さが向上します		 * C S B *
読み取り一致回数 読み取り一致を許可に設定したとき有効です (次に)→01～03(単位:回)→セット→設定終了		01	 * B A J *

メモ 読み取り一致を「許可」に設定すると読み取りデータの正確さが向上します。

例 設定開始 → 読み取り一致 許可 → 設定終了

メモ 読み取り一致を「許可」に設定した上で、「読み取り一致回数」を多く設定すると、正確さがさらに向上します。そのかわり、品質が低いバーコードは読み取り速度が低下するか読み取らなくなります。出荷時の回数=1、最大の回数=3

例 設定開始 → (読み取り一致 許可) → 読み取り一致回数 → 0 → 3 → セット → 設定終了



















9-3-5 動作設定 プリアンブル/プレフィックス/サフィックス/ポストアンブル

設定開始



* / # % P R G *

英数メニューとセットは巻末

設定		初期値	設定メニュー
プリアンブルの転送	禁止	✓	 * I E A *
	許可 プリアンブルを転送します		 * I E B *
プリアンブルのデータ	データ 0 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定 終了	(なし)	 * A A Z *
	データ 1 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定 終了	(なし)	 * A B A *
プレフィックスの転送	禁止	✓	 * I G A *
	許可		 * I G B *
	プレフィックスのデータを消去		 * I M A *
プレフィックスのデータ (次に)→アスキー(最大 10 桁)→セット→設定終了	(なし)	 * A B F *	
サフィックスの転送	禁止	✓	 * I H A *
	許可		 * I H B *
	サフィックスのデータを消去		 * I N A *
サフィックスのデータ (次に)→アスキー(最大 10 桁)→セット→設定終了	(なし)	 * A B G *	
ポストアンブルの転送	禁止		 * I F A *
	許可 ポストアンブルを転送します	✓	 * I F B *
ポストアンブルのデータ	データ 0 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定 終了	CR (0D)	 * A B B *
	データ 1 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定 終了	LF (0A)	 * A B C *

【データ転送形式】

プリアンブル	プレフィックス	バーコードタイプ	コード ID	桁数	読取データ	(コード ID)	サフィックス	ポストアンブル
データ 0 データ 1	1-10 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-10 桁	データ 0 データ 1

設定終了



* / # % E X T *

9-3-6 動作設定 バーコードタイプ、コードID、桁数の転送



設定		初期値	設定メニュー
バーコードタイプ転送	禁止	✓	 * I J A *
	許可 例 Code39 の場合 1234→(CODE-39)1234		 * I J B *
コードID 転送	禁止	✓	 * I B A *
	許可 例 Code39 の場合 1234→M1234		 * I B B *
コードID の位置	データの前に転送する	✓	 * I C A *
	データの後に転送する 例 Code39 の場合 1234→1234M		 * I C B *
桁数転送	禁止	✓	 * I K A *
	許可 例 6桁のデータの場合 123456→06123456		 * I K B *

メモ コードIDのキャラクタについては第7章7-2「コードID一覧」をご確認下さい

【データ転送形式】

プリアンブル	プレフィックス	バーコードタイプ	コードID	桁数	読取データ	(コードID)	サフィックス	ポストアンブル		
データ0	データ1	1-10桁	可変	1-2桁	2桁		1-2桁	1-10桁	データ0	データ1




9-3-7 動作設定 アルファベット大文字小文字の変換

設定開始



* / # % P R G *

設定		初期値	設定メニュー
アルファベット大文字 小文字の変換	禁止	✓	 * C T A *
	例 ABcd→ABcd と出力する すべて小文字に変換 許可		
	例 ABcd→abcd と出力する すべて大文字に変換 許可		 * C T D *
	例 ABcd→ABCD と出力する		 * C T C *











設定終了



* / # % E X T *

9-4-1 読取設定 UPC-A



設定		初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 * D V A *
	許可	✓	 * D V B *
チェックデジット転送	禁止		 * E A A *
	許可	✓	 * E A B *
アドオンの読み取り	禁止	✓	 * D W A *
	許可 2桁		 * D W B *
	許可 5桁		 * D W C *
	許可 2桁と5桁		 * D W D *
アドオンの確認	禁止	✓	 * D X A *
	許可 アドオンがあるか確認する		 * D X B *
アドオンの待ち時間 (次に)→00~99(単位:10ms)→セット→設定終了		50	 * B A K *



9-4-1(続き) 読取設定 UPC-A



設定		初期値	設定メニュー
先頭から連続する 0 の削除	禁止	✓	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する		
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	
コード ID の文字 (次に)→ASCII(1桁)→セット→設定終了		A (41)	

- メモ** 本製品は出荷時、UPC-A(12桁)の先頭に0を付けて13桁で転送します。
UPC-Aの先頭1桁を削除しを12桁で転送するには次の通り設定して下さい。


設定開始 → (UPC-A データの削除)前方から削除 → 0 → 1 → セット → 設定終了

- メモ** 先頭が0のJAN13のデータの削除を設定するときは、UPC-Aのデータの削除の設定をして下さい。
このページの設定は反映しません。
先頭が0のJAN13は、バーコードの構造上、UPC-Aと識別する為です。



9-4-2 読取設定 UPC-E



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 * E C A *
	許可	✓	 * E C B *
チェックデジット転送	禁止		 * E I A *
	許可	✓	 * E I B *
アドオンの読み取り	禁止	✓	 * E D A *
	許可 2桁		 * E D B *
	許可 5桁		 * E D C *
	許可 2桁と5桁		 * E D D *
アドオンの確認	禁止	✓	 * E E A *
	許可 アドオンがあるか確認する		 * E E B *
アドオンの待ち時間 (次に)→00~99(単位:10ms)→セット→設定終了		50	 * B A K *



9-4-2(続き) 読取設定 UPC-E



設定		初期値	設定メニュー
13桁に変換	禁止	✓	 * E F A *
	許可 例 02345673 →0023456000073 と転送する		 * E F B *
1桁目から連続する0を削除	禁止	✓	 * E H A *
	許可 例 00001233→1233 と転送する		 * E H B *
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B A Q *
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B A R *
コードID 0の文字 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了		45 (E)	 * A A B *
コードID 1の文字 コードID 0、コードID 1の順で転送します (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了		(なし)	 * A A C *



9-4-3 読取設定 EAN 13 / JAN 13



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 * E K A *
	許可	✓	 * E K B *
チェックデジット転送	禁止		 * E Q A *
	許可	✓	 * E Q B *
アドオンの読み取り	禁止	✓	 * E L A *
	許可 2桁		 * E L B *
	許可 5桁 新雑誌コードを読み取る		 * E L C *
	許可 2桁と5桁		 * E L D *
アドオンの確認	禁止	✓	 * E M A *
	許可 アドオンがあるか確認する		 * E M B *
アドオンの待ち時間 (次に)→01~99(単位:10ms)→セット→設定終了		50	 * B A K *

メモ 新雑誌コードを読み取る時は、次の通り設定して下さい。

設定開始 → アドオンの読み取り 許可 5桁 → アドオンの確認 許可 → 設定終了

新雑誌コードのアドオン(右側5桁)を読み落す場合は次のように設定して下さい。

大きな数値を設定するほど、読み落しは減りますが、単独の JAN13 の読み取りに時間がかかります。

設定開始 → アドオンの待ち時間 → 6 → 0 → セット → 設定終了



9-4-3(続き) 読取設定 EAN 13 / JAN 13



設定		初期値	設定メニュー
ISBN/ISSN 形式に変換	禁止	✓	 * E N A *
	許可 例 9789572222720 →9572222724 と転送します		 * E N B *
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	✓	 * E P A *
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する		 * E P B *
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B A S *
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B A T *
コード ID の文字 (次に)→アスキー(1 桁)→セット→設定終了		F (46)	 * A A D *

メモ 先頭が 0 の JAN13 のデータの削除を設定するときは、UPC-A のデータの削除の設定をして下さい。

このページの設定は反映しません。

先頭が 0 の JAN13 は、バーコードの構造上、UPC-A と識別する為です。



9-4-4 読取設定 EAN 8 / JAN 8



設定		初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 * E S A *
	許可	✓	 * E S B *
チェックデジット転送	禁止		 * E Y A *
	許可	✓	 * E Y B *
アドオンの読み取り	禁止	✓	 * E T A *
	許可 2桁		 * E T B *
	許可 5桁		 * E T C *
	許可 2桁と5桁		 * E T D *
アドオンの確認	禁止	✓	 * E U A *
	許可 アドオンがあるか確認する		 * E U B *
アドオンの待ち時間 (次に)→01~99(単位:10ms)→セット→設定終了		50	 * B A K *



9-4-4(続き) 読取設定 EAN 8 / JAN 8










設定		初期値	設定メニュー
13桁に変換	禁止	✓	 * E V A *
	許可 例 42345671 →0000042345671 と転送する		 * E V B *
1桁目から連続する0を削除	禁止	✓	 * E X A *
	許可 例 00001236→1236 と転送する		 * E X B *
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B A U *
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B A V *
コードID 0の文字 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了		46 (F)	 * A A E *
コードID 1の文字 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了		46 (F)	 * A A F *



9-4-5 読取設定 Code 39



設定		初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 * F A A *
	許可	✓	 * F A B *
スタート/ストップ転送	禁止	✓	 * F F A *
	許可 *がデータ前後に付きます 例 1234→*1234*と転送する		 * F F B *
チェックデジット確認	禁止	✓	 * F G A *
	許可 MOD43 チェックデジットがある場合のみ読み取ります		 * F G B *
チェックデジット転送	禁止	✓	 * F H A *
	許可		 * F H B *
Code 39 の形式	標準の Code 39	✓	 * F B A *
	Full アスキー Code 39		 * F B B *
最小読取桁数 (次に)→00~23→セット→設定終了		00	 * B A W *
最大読取桁数 (次に)→00~23→セット→設定終了		00	 * B A X *
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B A Y *
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B A Z *
コード ID の文字 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了		4D (M)	 * A A G *



9-4-6 読取設定 Interleaved 2 of 5 (ITF)



設定		初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 * F K A *
	許可		 * F K B *
チェックデジット確認	禁止	✓	 * F N A *
	許可 MOD10 チェックデジットがある場合のみ読み取ります		 * F N B *
チェックデジット転送	禁止	✓	 * F O A *
	許可		 * F O B *
最小読取桁数 (次に)→00~42→セット→設定終了		06	 * B B A *
最大読取桁数 (次に)→00~42→セット→設定終了		00	 * B B B *
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B B C *
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B B D *
コードIDの文字 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了		49 (I)	 * A A H *

メモ 出荷時の初期設定では読み取り**禁止**になっています。

最小読取桁数は **6** 桁になっています。

例 2桁から読むには次の通り設定して下さい。

設定開始 → 最小読取桁数 → 0 → 2 → セット → 設定終了



9-4-7 読取設定 Industrial 2 of 5



設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	 * F Q A *
	許可	 * F Q B *
チェックデジット確認	禁止	 * F S A *
	許可 MOD10 チェックデジットがある場合のみ読み取ります	 * F S B *
チェックデジット転送	禁止	 * F T A *
	許可	 * F T B *
最小読取桁数 (次に)→00～42→セット→設定終了	06	 * B B E *
最大読取桁数 (次に)→00～42→セット→設定終了	00	 * B B F *
データの削除	前方から削除 (次に)→00～15→セット→設定終了	 * B B G *
	後方から削除 (次に)→00～15→セット→設定終了	 * B B H *
コード ID (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了	H (48)	 * A A I *

メモ 出荷時の初期設定では読み取り**禁止**になっています。

最小読取桁数は **6** 桁になっています。



9-4-8 読取設定 Matrix 2 of 5



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 * F V A *
	許可		 * F V B *
チェックデジット確認	禁止	✓	 * F X A *
	許可 MOD10 チェックデジットがある場合のみ読み取ります		 * F X B *
チェックデジット転送	禁止	✓	 * F Y A *
	許可		 * F Y B *
最小読取桁数 (次に)→00～42→セット→設定終了		06	 * B B I *
最大読取桁数 (次に)→00～42→セット→設定終了		00	 * B B J *
データの削除	前方から削除 (次に)→00～15→セット→設定終了	00	 * B B K *
	後方から削除 (次に)→00～15→セット→設定終了	00	 * B B L *
コードIDの文字 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了		G (47)	 * A A J *


















メモ 出荷時の初期設定では読み取り**禁止**になっています。

最小読取桁数は **6**桁になっています。



9-4-9 読取設定 Codabar / NW7



設定		初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 *GFA*
	許可	✓	 *GFB*
スタート/ストップ転送	禁止	✓	 *GIA*
	許可 A がデータ前後に付きます 例 1234→A1234A と転送する		 *GIB*
スタート/ストップ転送形式	ABCD/ABCD	✓	 *GGA*
	abcd/abcd		 *GGB*
	ABCD/TN*E		 *GGC*
	abcd/tn*e		 *GGD*
チェックデジット確認	禁止	✓	 *GJA*
	許可 MOD16 チェックデジットがある場合のみ読み取ります		 *GJB*
チェックデジット転送	禁止	✓	 *GKA*
	許可		 *GKB*
最小読取桁数 (次に)→00~29→セット→設定終了		04	 *BBQ*
最大読取桁数 (次に)→00~29→セット→設定終了		00	 *BBR*
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 *BBS*
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 *BBT*
コード ID の文字 (次に)→アスキー(1 桁)→セット→設定終了		N (4E)	 *AAL*



9-4-10 読取設定 Code 128



設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	 * G M A *
	許可	 * G M B *
転送形式	Code 128	 * G N A *
	UCC 128 GS1-128 の先頭に]C1 が付きます	 * G N B *
最小読取桁数 (次に)→00~48(42)→セット→設定終了	00	 * B B U *
最大読取桁数 (次に)→00~48(42)→セット→設定終了	00	 * B B V *
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	 * B B W *
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	 * B B X *
コード ID の文字 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了	K (4B)	 * A A M *

メモ Code128 の転送形式を UCC 128 に設定し、かつ、制御文字のファンクションキー変換を許可に設定するとスタートキャラクタの次の FNC1 と区切りの FNC1 が F12 キーになりますのでご注意ください。

最大読取桁数はコードセット C のみの場合 48 桁、コードセット A、コードセット B は 42 桁です。

桁数を設定する場合、チェックデジット（1 桁）を足して設定して下さい。



9-4-11 読取設定 Code 93



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 * G T A *
	許可		 * G T B *
チェックデジット確認	禁止		 * G W A *
	許可 チェックデジット 1 桁		 * G W C *
	許可 チェックデジット 2 桁	✓	 * G W D *
チェックデジット転送	禁止	✓	 * G X A *
	許可		 * G X B *
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B C A *
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B C B *
コード ID の文字 (次に)→アスキー(1 桁)→セット→設定終了		L (4C)	 * A A N *



9-4-12 読取設定 Code 11



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 * G Z A *
	許可		 * G Z B *
チェックデジット確認	禁止		 * H B A *
	許可 チェックデジット 1 桁		 * H B C *
	許可 チェックデジット 2 桁	✓	 * H B D *
チェックデジット転送	禁止	✓	 * H C A *
	許可		 * H C B *
データの削除	前方から削除 <small>(次に)→00~15→セット→設定終了</small>	00	 * B C E *
	後方から削除 <small>(次に)→00~15→セット→設定終了</small>	00	 * B C F *
コード ID の文字 <small>(次に)→アスキー(1 桁)→セット→設定終了</small>		0 (4F)	 * A A O *



9-4-13 読取設定 MSI/Plessey



設定		初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 * H E A *
	許可		 * H E B *
チェックデジット確認	禁止		 * H G A *
	許可 MOD10	✓	 * H G B *
	許可 MOD10/10		 * H G C *
	許可 MOD11/10		 * H G D *
チェックデジット転送	禁止	✓	 * H H A *
	許可		 * H H B *
データの削除	前方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B C I *
	後方から削除 (次に)→00~15→セット→設定終了	00	 * B C J *
コードIDの文字 (次に)→アスキー(1桁)→セット→設定終了		P (50)	 * A A P *



第 10 章 保証と修理

10-1 保証

■保証について

本製品には保証書が添付されていません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

■保証期間

お買い上げ日から 1 年間

■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

■保証範囲

- ・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。
- ・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
- ・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

10-2 修理

●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

お問い合わせ先

株式会社アチーヴ

ホームページ <http://www.achi-eve.co.jp/>

メール info_mail@achi-eve.co.jp

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F

電話 045-508-1877 FAX 045-501-4922

付録 A サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



JAN-13(EAN-13)



JAN-8(EAN-8)



Code 39



CODE39-1Q

Interleaved 2 of 5 (ITF) ※



14512345678903

※出荷時、読み取りは**禁止**※出荷時、最小読取桁数は**6**桁

Codabar / NW7



A1234567890A

Code 128



Code128-567890

印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

















付録 B 英数メニュー

アスキーコード表

L \ H	アスキーコード表			
	0(*)	1(*)	0(**)	1(**)
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	ESC	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

*USB キーボードインターフェースが対応

L \ H	アスキーコード表					
	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	¥	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
A	
B	
C	
D	
E	
F	



セット



設定終了



* / \$ % E X T *